

4月
新講座

太田治子の 土曜美術館

—小説家と芸術家の愛

- * 講師 * 作家 太田治子
- * 開講日 * 第1土曜日 13:30~15:00
- * 受講料 * 6ヵ月(6回)分 18,000円+税
- * 持ち物 * 筆記用具



小説家と芸術家とは不思議なつながりがあります。マリー・ローランサンのように絵と詩と両方を嗜む画家もいれば、詩をこよなく愛する大岡昇平のような小説家もいます。ここでは、そうした芸術家たちの心の結びつきについてお話ししたいと思います。4月から始まる6ヵ月講座です。

◆ 平成29年4月~9月カリキュラム ◆

- 4月1日 「中原中也と大岡昇平」
- 5月6日 「ルソーとマリー・ローランサン」
- 6月3日 「浅井忠が惹かれたイタリアの絵の中の女性」
- 7月1日 「林芙美子が最後に愛した画家」
- 8月5日 「井上靖とスペインの画家」
- 9月2日 「荻須高德とエコール・ド・パリの画家」

【講師プロフィール】太田治子(おおたはるこ)

神奈川県小田原市生まれ。明治学院大学英文科卒。1976~79年、NHK「日曜美術館」の司会アシスタントを務める。86年、『心映えの記』で坪田穰治文学賞受賞。主な著書に『母の万年筆』『私のヨーロッパ美術紀行』『絵の中の人生』『万里子の色鉛筆』『青い絵葉書』『恋する手』『夢さめみれば』『星はらはらと』など。

詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※内容・日程は変更になる場合がございますご了承ください。
※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金(3,500円+税)が必要です。

名古屋・栄 中日文化センター
Culture & Communication 中日新聞
フリーダイヤル
0120-53-8164 10:00~19:00
日曜日は17:00まで
〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4F